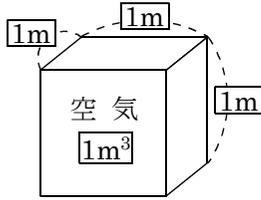


# 水蒸気をふくむ限界

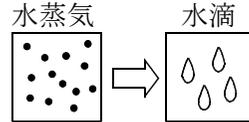
ア **飽和** … ふくむことのできる限界に達していること。

イ **飽和水蒸気量** …  $1\text{ m}^3$ の空気中にふくむことができる最大の水蒸気量。気温が高くなるほど多くの水蒸気をふくむことができる。

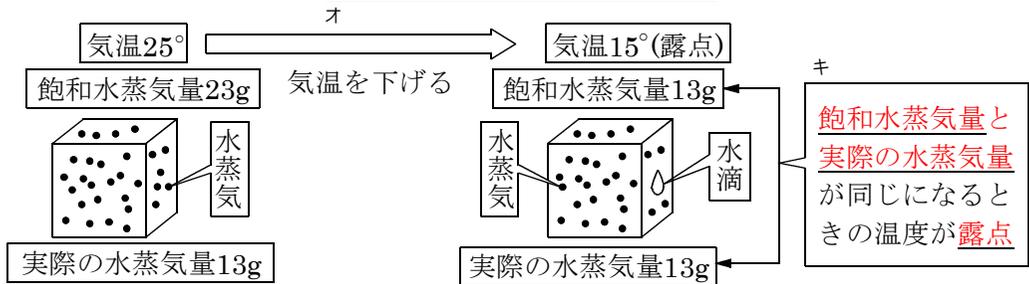


気温 [°C]	0	5	10	15	20	25	30	35
<b>飽和水蒸気量</b> [g/m <sup>3</sup> ]	5	7	9	13	17	23	30	40

ウ **凝結** … 水蒸気（気体）が水滴（液体）になること



エ **露点** … その空気の実際の水蒸気量とおなじ量の飽和水蒸気量まで温度が下がり水滴が現れたとき、その下がったところの温度をその空気の**露点**という。簡単にいうと**水蒸気**が**水滴**になるときの**温度**のこと！



カ あと10g水蒸気をふくめる

ク **霧** … 空気が冷えて露点以下になり、空気中の水蒸気が地表付近で小さな水滴となって空気中に浮かんでいるもの。

ケ **露** … 空気が冷えて 空気中の気温が露点以下になり、空気中の水蒸気が小さな水滴となって草やガラスなどについたもの。

**観察 1** コップの水に氷を入ると、コップの表面に水滴ができた。

①水滴はどうしてできたのか。

コ **コップのまわりの空気の温度が露点以下になり、空気中の水蒸気が水滴になったから。**

②コップの表面に水滴がつき始めたときの温度を何というか。

サ **露点** (水蒸気水滴になったときの温度)

③この観察で注意しなければならないことは何か。

シ **コップに息をかけないようにし、コップの表面がくもり始めたときの温度を測定する。**

